

窓

京都新聞 令和2年(2020年)11月25日(水)

信頼関係 成長に欠かせぬ

木津川市・出谷 萌夏(大学生・20)

今年の夏休みの間に保育所実習に行った。私は実習を通して保育士という職業について考えを深めることができた。この実習を終えて保育士とは、子どもにとって安心して生活を送るうえで欠かせない存在であると実感した。

私は1歳児クラスと2歳児クラスを担当したが、子どもたちとどれだけ向き合うことができるかということの重要性を両クラスから学んだ。初めはなかなか心を開いてくれなかった子どもとも、自分から関わる時間を増やすことで少しずつ

私の意思を伝えてくれたり、遊ぼうと声をかけてくれたりするようになった。この時、安心できる大人と信頼関係を築くことで、子どもは自分の意見を伝えられるようになったりできるようになるのだと感じた。そして子どもたちは自己を肯定できるようになる。成長するためには、信頼関係が必須だと考えた。

これから私は保育士になりたいと考えているが、子どもたちに寄り添い安心して生活を送ることができるような保育士になりたいと今回の経験から考えた。